

# 女性部だより

残暑厳しい9月28〜29日に和歌山県にて第69回日本母親大会が開催されました。28日は、全体会・和歌山県民文化会館にて第五福竜丸展示館学芸員安田和也さんの記念講演「第五福竜丸・みんなの船」。29日は、分科会・和歌山城ホール・プラザホープ・ビッグ愛にて「子どもと教育」「ジェンダー平等社会の実現」など色々な問題をテーマ

## 日本母親大会 in 和歌山



母親大会大成功！  
感動しました！

島に投下した原爆のおよそ一千倍の威力を持ち、それによってもたらされた「死の灰」は、太平洋からインド洋にかけて空

でいて7歳でしたが、「死の灰」の恐怖は、はつきりと覚えています。広

別話に話し合いました。大会に参加した組合員に感想を聞きました。

●ビキニ水爆被災70年の今年始めて日本母親大会が和歌山県にて開催されました。1954年3月1日、アメリカによるビキニ環礁で行った水爆実験より約千隻の日本漁船が被爆し、うち三十隻が和歌山県隻で、第五福

も海も近隣の島々も全て汚染しました。父母に「絶対に雨に濡れたらだめ」ときつく言われていて雨がとて怖かったです。当時は雨が降るたびに日本各地で放射能が検出されたそうです。ビキニ被爆の翌年「核戦争から子どもを守ろう」と母親たちの願いから日本母親大会が始まりました。

●日本母親大会は、「生命を生み出す母親は生命を育てて生命を守ります」をスローガンに運動しています。今回の参加者は1万1500人でした。

私は、何度か母親大会には参加していますが、今回のように平和を願って集まった女性がこんなにいるとは。ビックリしました。核廃絶運動が実現し世界に真の平和が訪れた時「第五福竜丸」はようやくイカリを下ろすことが出来るのです。

全体会講師の安田さんの話しは、わかり易く平和への願いを新たにさせてくれました。W・K

この度、女性部では私達にとって身近な問題、介護に焦点を当てた学習会を開催しました。実際に活動、支援をされているプロを講師として迎え自身が抱えている悩みや疑問などをテーブルを囲み其々に話し合うため8卓を用意し1つの卓に7〜8人が集える様にしました。皆さん介護に関する思いや直近の困りごとなどを堰を切ったように話されていました。その中のいくつかを紹介いたします。

○講師の話がとてもわかり易かった。グループの話の中で個人的にも其々大変だと胸がつかまされる思いがした。

○介護制度やサービスの利用の仕方がわかった。ヘルパーさんやケア・マネさんの大変さが分かった。



竹内講師の話に聞き入る参加者

## 介護学習会 10-3

講師：竹内 智子 社会福祉士・介護支援専門員・精神保健福祉士  
現民医連23年勤務  
同時開催：ミニバザー・学習会終了後骨密度測定会（民医連）  
バザー収益金：24,200円 参加者67人



○高い保険料の割りには内容がお粗末で人間味の無いものだど知った。もう少し時間がほしい

○講師の話がとてもわかり易かった。グループの話の中で個人的にも其々大変だと胸がつかまされる思いがした。

○介護制度やサービスの利用の仕方がわかった。ヘルパーさんやケア・マネさんの大変さが分かった。

○高い保険料の割りには内容がお粗末で人間味の無いものだど知った。もう少し時間がほしい

○講師の話がとてもわかり易かった。グループの話の中で個人的にも其々大変だと胸がつかまされる思いがした。

○介護制度やサービスの利用の仕方がわかった。ヘルパーさんやケア・マネさんの大変さが分かった。

## 交流会 いね!



たのと介護利用の細かい注意点、ヘルパーさんの現状とかに踏み込んでほしかった。このテーマの

○大阪市の介護保険料は高すぎる、カジノ万博は中止にし安心して入れる施設を建設してほしい。

○支援の認定を受けていて、突っ張り棒設置、リハビリ訪問看護師さん、とても助かっています。

この様な支援体制を守って行きたいです。

### お知らせ

第5回女性部委員会  
11月20日(水) 13時30分  
グリーン会館 6階  
宣伝行動有り